

# 新年のごあいさつ



**明**けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、穏やかな新春をお迎えに出来ましたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、2月の雪害、7月の南木曾町の土砂災害、9月の御嶽山噴火、11月の長野県神城断層地震と、自然災害の多い年でした。今年は安寧な年になることを切に願うものであります。

一方で、積極的に中野市のPRに努めた年でもありました。6月のバラまつり期間中には、ばら制定都市会議（ばらサミット）を開催しました。また、音楽姉妹都市や交流都市にお声掛けし、信州中野アンサンブルフェスを開催し、音楽を通じて交流を深める事業にも着手しました。久石譲先生のお嬢さんの麻衣さんに音楽親善アンバサダーにご就任いただき、中野市のイメージソング「空みあげて」が完成し、リリースに向け準備が進んでいます。

首都圏では横浜で信州なかのフェア、銀座NAGANOのイベント「えのきつさ」「食酒楽会」を開催するなど、県外で中野市を知っていただく機会を得ました。

今年の景気動向をみますと、大方の予想は緩やかな景気回復基調が見込まれておりますが、地方においては、政府のアベノミクスによる一段の経済効果の地方への波及が期待されるところであります。地域を取り巻く環境は、3月に北陸新幹線の長野・金沢間の開業により、ヒト、モノの流れが大きく変化することが予想されます。

4月には新中野市が誕生10周年を迎えます。各種記念事業を通じて、節目の年を皆さまとともに祝い、未来に向かって、大いに羽ばたく年となるよう努めてまいります。

今年の干支は「乙未（きのと・ひつじ）」です。「乙」は、固い殻を破って草木の芽が出たものの、曲がりくねっている様を示し、「未」は「一」と「木」に分けられ、「一」は木の上部、つまり枝葉の繁茂を表すとのこと。「未」は「曖昧」に通じて、「道理がみえにくい」ことを意味し、あまり枝葉を茂らせるとはいけないということを示唆するといわれます。

こうした点を踏まえますと、今年は改革創造の歩みが滞りがちなところを、枝葉末節を除き物事を明らかにしていく年といえようかと思いま

す。国や地域においても、真に重要なことを見極め、気持ちを引き締め取り組んでいくことが重要だと考えています。中野市が活力溢れ、豊かな社会を実現するためには、これまでの殻を破り捨てて、市民の皆さまとともに一緒になって切り拓いていくことが大切だと思っています。

新庁舎建設整備では、基本計画（案）を提案し、様々なご意見をいただくなかで、市長として、慎重を期して臨む所存です。

豊かで暮らしやすく観光などの資源豊富な中野市が未来に向かって確かな一歩を踏み出す年となるよう努力して参ります。

皆さまの幸多き一年であらんことをご祈念し、新年のご挨拶といたします。

中野市長

池田 茂





特集

# 子ども議会

～私たちが考えるより良い中野市の将来～

昨年11月20日、市役所議場において「子ども議会」を開催しました。子ども議会は、中野市の将来を担う子どもたちに、市政を身近に感じてもらうとともに、まちづくりに進んで参加する意欲を育てるため開催しています。

本年度は、長丘小学校、平岡小学校、科野小学校および倭小学校の6年生、計86人が参加し、12人の議員が質問・提案を行いました。